

226S/227S 取付説明書

本製品はスポーツタイプの自動車用ステアリングホイールとワークスベル製ラフィックスシリーズを装着するためのアダプターです。この用途以外にはご使用にならないで下さい。

取付作業の前に・・・

- ・ 本取付説明書を良くお読みになってから作業を行って下さい。
- ・ 取付説明書内に不明な点がありましたら、弊社カスタマーセンターにお尋ね下さい。
- ・ 作業は、作業に適した場所(平坦でスペースのある安全な場所)で行って下さい。
- ・ ステアリング及び、前輪は直進状態で作業を始めて下さい。
- ・ 作業は各工具等を使用しますので、怪我等十分に注意して行って下さい。

重要！グレード、装備によりバッテリーの接続を外すと、ディーラーでないと各機能が復元できない車両があります。事前にバッテリー接続を外して良い車両か自動車メーカー、ディーラーにお問い合わせ下さい。

重要！バッテリーの接続を外した際、オーディオ、時計、パワーウィンドウ、セキュリティ等の設定がリセットされます。復元方法を事前にお調べ下さい。

- ・ ステアリングを交換することにより、純正ステアリングに装着されているエアバッグはご使用出来なくなります。
- ・ ステアリングスイッチをご使用になる場合、もしくはスイッチを移設しないと警告灯が点灯する車両は別売の SRD キットをご購入して下さい。車種により SRD キットの設定が無い場合もあります。詳しくは適合表をご確認下さい。
- ・ 付属エアバッグジャンパー線でエアバッグの警告灯を消灯できる筈ですが、一部の車両で個体差により消灯出来ない、消灯出来てもしばらくして点灯してしまう場合があります。多くの場合、接触不良が原因と思われるのですが、警告灯の消灯を完全に保証するものではありません。ご了承下さい。

重要！取外した純正ステアリングホイール、エアバッグモジュール、スイッチ類は大切に保管して下さい。何らかの事由により、純正ステアリングに復元する際、弊社でこれらの純正部品の補償、代替品のご用意、工賃の負担等は一切行いません。

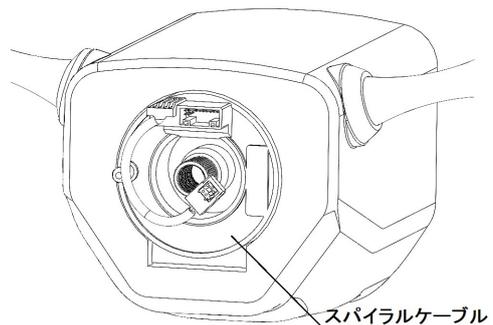
- ・ 本説明書には純正部品の取外し方については記載しておりません。取外し方法は自動車メーカー、ディーラーへお問い合わせ下さい。
- ・ 本製品はワークスベル製ボールロックシステム・ラフィックス(I、II)、ラフィックス GTC に対応しています。ワークスベル製ラフィックスレーシングの溶接タイプは直接取付けできません。ラフィックスレーシングボルトタイプは 3-6 穴アダプターを併用しないと取付けできません。
- ・ 他社製クイックリリース、弊社模造品に関して取付けできません。

取付作業説明

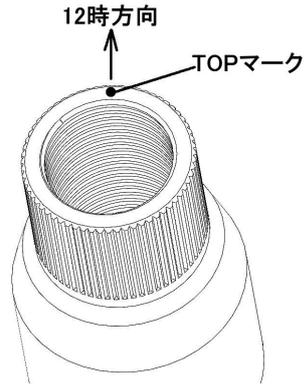
1. バッテリーの(-)端子を外し、10分程度待機して下さい。
2. 純正ステアリングホイールを車体から取外して下さい。このとき外したセンターボルトは再使用します。

注意！ステアリングホイールを取外した後にスパイラルケーブルを回転させないで下さい。

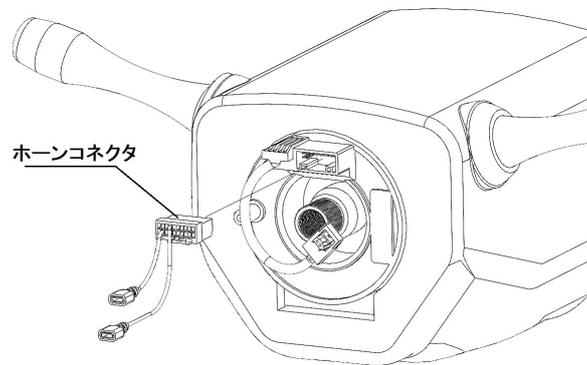
破損する恐れがあります。



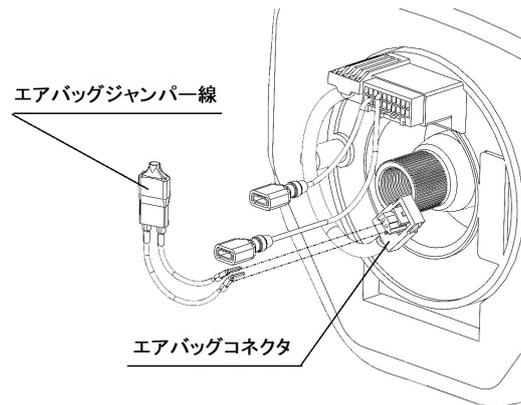
注意！センターボルトを取外した後に、ステアリングシャフトの時計 12 時方向にマジック等でマークを付けてください。後に TOP の位置が分かりやすくなります。



3. 本製品に付属のホーンコネクタを車両のスパイラルケーブルに接続して下さい。



4. 本製品付属のエアバッグジャンパー線の端子をスパイラルケーブルから出ているエアバッグコネクタにそれぞれ挿して下さい。このとき、抜け防止及び接触不良がおきないように必ず絶縁テープ等で固定して下さい。2本の端子の極性(プラスマイナス)はありません。

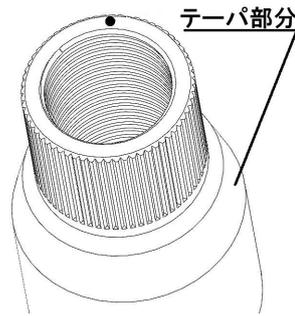


注意！固定作業をしないと接触不良等でエアバッグの警告灯が点灯してしまうことがあります。警告灯点灯(点滅)状態では車検に合格することが出来ません。

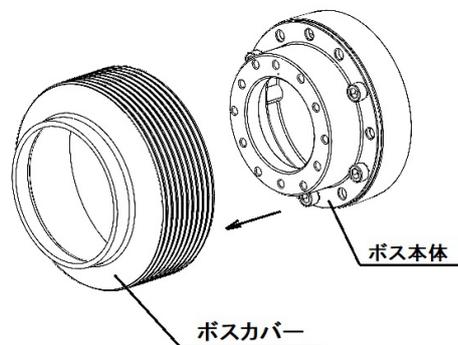
注意！エアバッグジャンパー線の端子を曲げる必要のあるときは、慎重にゆっくりと一回だけ曲げるようにして下さい。繰り返し曲げると折れることがあります。

5. 車体のステアリングシャフトをパーツクリーナー等で脱脂・清掃して下さい。

警告！テーパ部分に油脂や異物が付着していると規定トルクでの締付けでもボスやステアリングシャフトが破損することがあります。



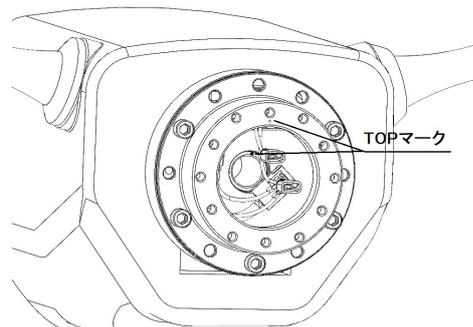
6. 出荷状態でボスに被さっているボスカバーをボスから外して下さい。



7. ステアリングボスの TOP マークを時計 12 時方向にし、車体側にある角窓から手順3及び手順4で作業した配線をボス内部に引き込んで下さい。(ステアリングヒーター装着車はヒーター用コネクタも内部に引き込んで下さい。)

8. ステアリングシャフトのセレーション(スプライン)オスと、ステアリングボスのセレーションメスを合わせ、ステアリングシャフトに挿入します。このとき手順2でつけたマークとボスの TOP マークを合わせてください。

警告！シャフトのセレーションの山とボスのセレーション谷を慎重に合わせて挿入して下さい。山と山がかじった状態で無理に挿入するとステアリングシャフトやボスを破損する恐れがあります。



9. センターボルトを締付けます。手順2で外したボルトを再使用して下さい。締付けトルクは 50N・m(5kgf・m)です。必要であれば取付けようとするスポーツステアリングホイールを仮付けしておさえて下さい。

警告！絶対にインパクトレンチ、十字レンチ、電動工具等を使用しないで下さい。ステアリングボスやステアリングシャフトが破損する恐れがあります。必ずダイヤル表示式のトルクレンチを用い、ゆっくりと締付けて下さい。

10. 手順6で外したボスカバーをボスに被せてください。ボス本体の表面とボスカバーの表面が平らになれば正規位置です。このとき、車体コラムカバーにボスカバー下部が当たる場合は、ボスカバー下部をカッターやハサミ等で切ってお使い下さい。

危険！カバー切断時は怪我に充分ご注意下さい。

11. ボールロックシステム・ラフィックス（Ⅰ、Ⅱ）またはラフィックス GTC を装着して下さい。以降はそれらの取付説明書を参照下さい。作業3で差したホーンコネクタの配線 2 本のうち、1 本がホーンプラスです。純正のコネクタを参照してください。

注意！余った配線はアースではありません。

12. ラフィックスシリーズとステアリングを取付後、エンジンを始動し、警告灯が消灯することを確認して下さい。

13. ステアリング操作をして異音がないこと、ガタつきがないこと、ウィンカーが戻ることを確認して下さい。問題がなければ取付け作業は終了です。

●取付け後の扱いについて

重要！普段の車両運行前に必ず上記手順12、13の確認作業を実施して下さい。緩みやガタがある場合は速やかに運行を中止し、各部の破損、ボルト類の緩みをチェックして下さい。

- ・ステアリングボスを取外す場合は必ずプーラー（専用工具）を使用して下さい。ステアリングホイールを引っ張って取外すとステアリングホイールやステアリングシャフトを破壊することがあります。
- ・ボススペーサーを併用してポジションを調整するときは、ラフィックスシリーズとステアリングホイールの間に装着して調整して下さい。（弊社では 10mm～30mm まで 5mm 刻みでボススペーサーを設定しております。尚、ボスの長さを車両側に近づけることは出来ません。）

注意事項

- ・本製品は 2ピース構造をボルト固定しています。このボルトは出荷状態で適正なトルクの締付けがなされています。お客様が緩めた場合、適正トルク $9\text{N} \cdot \text{m}$ ($0.9\text{kgf} \cdot \text{m}$) で締めなおして下さい。
- ・エアバッグ警告灯が消灯していれば、助手席エアバッグ、プリテンショナーシートベルト等も事故時には正常に作動する筈ですが、弊社では作動を保証しておりません。
- ・運転席エアバッグを取外すことにより、任意保険の契約内容に変更が必要になる場合があります。ご加入の保険会社にお問い合わせ下さい。

危険！取外したエアバッグ及び純正ステアリングは大切に保管して下さい。エアバッグには衝撃を与えたり、電気を流さないで下さい。（テスター等も含む）

- ・純正ステアリングホイールに戻す時は必ずディーラーに作業を委託して下さい。エアバッグの作動チェック等の検査が出来ません。

製造元：株式会社ワークスベル

〒391-0011 長野県茅野市玉川 8507

問い合わせ先：ワークスベル・カスタマーセンター

TEL:0266-70-1477

E mail: support@worksbell.co.jp